

温室効果ガス排出の低減に向けて



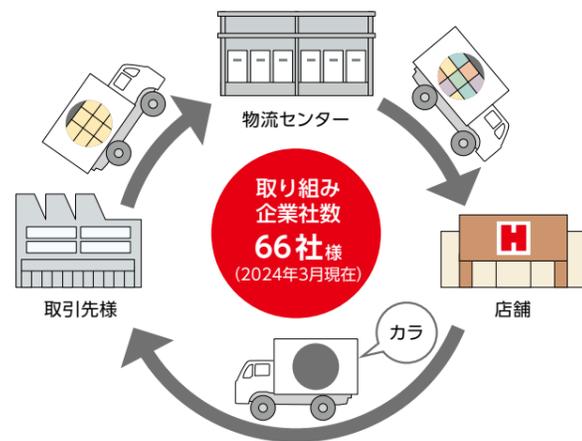
CO2・フロン等の温室効果ガス (GHG) 排出量低減は全ての事業者共通の課題です。当社では主に物流の効率化および店舗における電気使用量の削減・クリーンエネルギー化によるGHG排出量低減に取り組んでいます。

物流の効率化

物流の効率化による、CO2排出の抑制を推進しています。これは温室効果ガスの排出抑制のみならず、化石燃料の使用量低減、ドライバーの労働環境改善にもつながる取り組みとなっています。

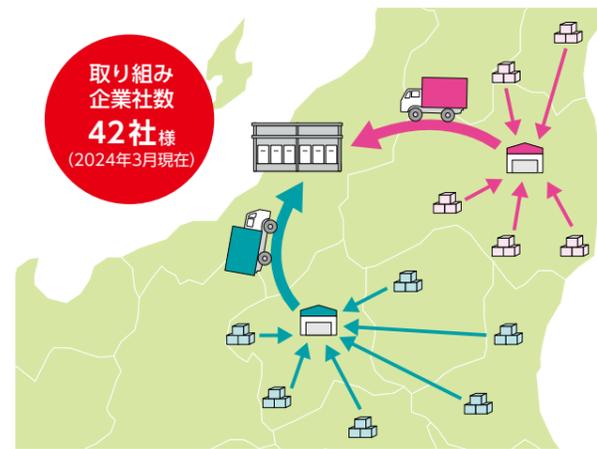
戻り便の活用

物流センターから店舗に商品を運んだ後、空になって戻るトラックを活用し、店舗近隣のお取引先様の商品を引き取って物流センターに納めます。



遠隔地からの共同配送

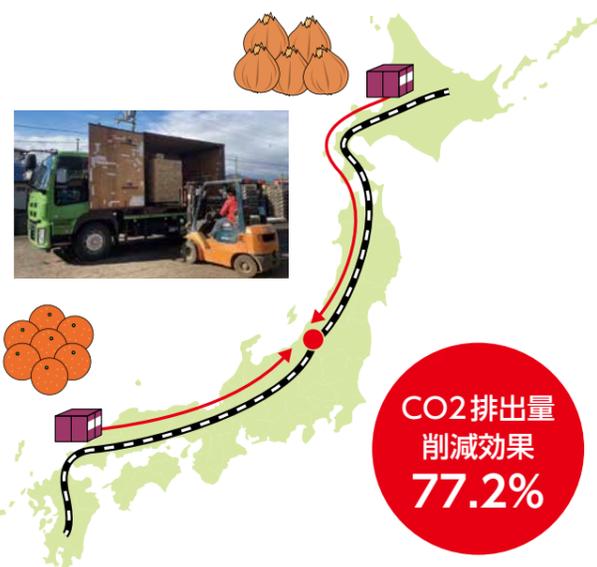
関東・東北地方の二か所に中継物流センターを設置し、当該エリアのお取引先様の商品を一時的に集約し、中継物流センターからまとめて新潟県に運んでいます。



モーダルシフト※

原信・ナルスでは、CO2排出削減を目的としたモーダルシフトを、共同調達機構シジシージャパン様他5社協働で導入しています。

この取り組みが評価され「令和5年度グリーン物流パートナーシップ会議 物流パートナーシップ優良事業者表彰」において「グリーン物流パートナーシップ会議特別賞」を受賞しました。



※モーダルシフト：生産地の最寄り駅から当社物流センター最寄り駅までの輸送を鉄道輸送で行うことで、CO2排出量削減効果を図る取り組みです。



グリーン物流パートナーシップ会議における表彰

『ZEB』認証の取得

原信は、2023年11月に建替えオープンした白根店において、建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS※1) による5段階評価の最高ランクを獲得するとともに、スーパーマーケット業界では初めて (独自調査による) 省エネ達成度ランク最高位の『ZEB』認証※2を取得しました。基準一次エネルギー消費量を基準に、AI制御による省エネエアコン等各種省エネ設備導入によって65%削減、屋根を最大限活用した太陽光発電パネル設置によって47%創エネし、「合計112%のエネルギーを削減した」との評価をいただきました。

※1 BELS：建築物における省エネ性能を評価する第三者認証表示制度です。

※2 『ZEB』 (Net Zero Energy Building)：建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロ (100%削減) にすることを旨とした建物を指します。広義のZEBにはNearly ZEB、ZEB Ready等複数の種類がありますが、その中でも最も優れた省エネ性能を示すものが今回取得した狭義の『ZEB』です。



原信 白根店



太陽光パネルの推進

CO2排出量削減に向け、太陽光パネルの設置を推進しています。

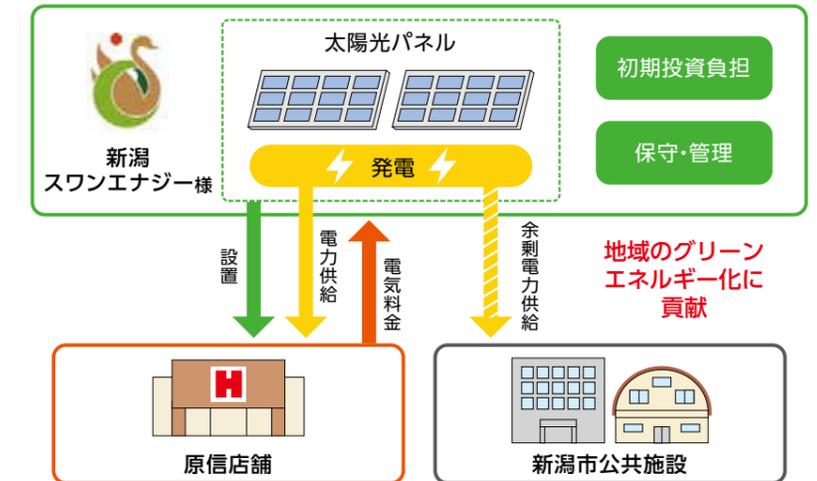
アクシアル太陽光パネル設置店舗数

2022年度 累計 38店舗
2023年度 累計 48店舗

このうち原信が新潟スワンエナジー様と展開している太陽光PPA (電力販売契約) モデルでは、店舗で使いきれない余剰電力を新潟市の公共施設に提供する、地域のグリーンエネルギー化に貢献する取り組みを行っています。

(2024年3月末現在9店舗)

太陽光PPA (電力販売契約) モデル事業



冷蔵・冷凍機器の管理

温度管理の厳格運用

スーパーマーケットは冷蔵・冷凍商品・生鮮食品の品質・温度を維持するため、冷蔵・冷凍機器を多数使用しており、電力を多く消費しています。当社グループでは、商品の品質を担保するために温度管理を厳密に行うことを前提に、電気使用量削減を徹底し、CO2排出量の削減に努めています。

グリーン冷媒の推進

当社グループでは、オゾン層を破壊する特定フロン、温室効果が高い代替フロンを使用している設備については冷媒の漏洩を厳格に管理するとともに、地球温暖化への影響が少ないグリーン冷媒を使用した冷蔵・冷凍機器の設置・切替を推進しています。

(2023年度グループ設置数 58店舗)



グリーン冷媒ショーケース